

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ じょうほうし



「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 11

ぶるーむ.com

2011.4

はるごう
春号

とうほくかんとうだいしんさいによるひさいしやとそのご家族に対して、心よりお見舞い申し上げます。

～ じぶん せいかつたの
～ 自分の生活楽しんでいますか？ ～



きょう せつやく
今日は節約のために、
えき ある くだ
駅まで歩いて下さい。

きょう
今日もですね。

CONTENTS

- P2 よろず!!2011.....
- P4 じりつじざい だいさんかい
Ipp1「自立自在」-第三回-
- P6 たかお
高尾ヘルパーコラム.....
- かつどうほうこく
活動報告.....

◆「ぶるーむ」の由来◆
 えいごの bloom をひらがな表記したものです。
 bloom には、「(花が) 咲く」「(才能・事業などが) 花開く」などの意味があります。この
 きたきゅうしゅうのちで、じりつせいかつ じょうよう
 北九州の地で、自立生活の土壌をあらため
 ておこすことから始め、それぞれの自立生活
 の種を植え、いろとりどりの自立生活の花が咲
 きほこるという願いをこめました。

よろず！！2011

今年最初の『よろず！！』題して『餅歌よろず！！』最近ではなかなか体験することも少なくなってきた餅つきと『よろず！！』の定番となった歌を楽しんでいただきたいという思いを込めまして『餅歌よろず！！』と題しました。

MC もりきき 森崎さん



スタッフ やまうち 山内

幹事 ほんだ 本田さん

『よろず！！』の目的として楽しむことは勿論ですが、できるだけ参加者の方々にも企画・進行・催しなどに携わっていただきたかったので、『本田恭一さん』『森崎健斗さん』に声を掛け一緒に進行することにしました。幹事を本田さん、MCを森崎さんに担当していただき、ぶるーむスタッフからは山内が加わり三人で進行していきました。

本田さんと森崎さんには事前に呼びかけをし、当日の打ち合わせからディスカッションまでを念入りに行い本番にそなえました。また、せっかくの機会でしたので幹事の本田さんに共同調理を提案させていただき、当日の夕食にカレーライスを用意しました。前日からの計画・買出し・調理までを西小倉市民センターにて一緒に行いました。

男料理！スタート☆



かんせい 完成



はなまる

おとこりょうり きほん 男料理の基本！
カレーライス！！

なかなかおいしそうにできあがりました！

当日の流れも非常にスムーズで、最初にカレーを振る舞い、食事中はMCによるラジオ形式の進行でBGMや様々なトークの中、食事を楽しんで頂き、食事終了後、餅つき機のスイッチを入れ、スタッフ山内のギター演奏にて、参加者の中から数名の方に歌を歌っていただきました。手拍子や笑い声もありで非常に盛り上がりました。



だいねっしょうちゅう
大熱唱中

はくしゅかっさい
拍手喝采！

歌も終わり、搗き上がった餅を早々に片栗粉に潜らせ、スタッフで手分けして丸めました。餅の食べ方は、きな粉と酢餅を用意しました。中でも酢餅は、搗き立ての時にしか食べられないので、参加された方々にとっても貴重な体験になったのではないのでしょうか。当日はカレーもあったので餅を持ち帰る事を予想してましたがすぐに完食されていました。



まずは機械で蒸してこねていきます。
なかなかいい感じになってきました～
おいしそうです！

お次は片栗粉を投入！食べやすい大きさにちぎり、丸めます！
つきたてなので熱い(>_<)
やけどに注意ですよ～

最後に…皆さんのお口に運び込まれます。つきたて餅のお味はいかがでしたかあ～？

最高でしたよ！

終始盛り上がった今年最初の『餅歌！！よろず！！』もお開きの時間となり、最後も、本田さんと森崎さんの名コンビで締めくくっていただき、今回のよろずを終了しました。

今後も『よろず！！』を進めていく上では、『気軽に来て、気楽に話せて、気ままに歌って楽しむ』を基本スタイルとして、ぶる一むにより足を運びたいような定例イベントとして企画していきたいとおもいます。

自立自在

JiRitsu-Jizai

だいさんかい
- 第三回 -

ゴゴウノリフミ

受傷してから20年経つ。ということは、障害者になって20年（障害成人??）になるということ
で、私の場合、介護（介助）を受け続けて20年になることを意味する。20年間も介護を受け
続けると、たくさんの介助者と出会う。記憶力がズバ抜けてよい私はこれまで関わってくれた職業
ヘルパーのすべての顔と名前を覚えている。が、さすがに思い出せない。（決して忘れていたわけ
も覚えていないわけでもない！）おそらく50人はくだらない。なかには数日という人から数年とい
う人まで様々いる。

ヘルパーが初めて入ったのは受傷後4年を過ぎた頃で、それまでは家族介護のみに頼っていた。正
確に言えば、入院中の1年間は看護師（当時は看護婦）の介護も受けていた。はっきり言って、看護
師の介護は酷かった。

施設介護はどうしても職員（施設）主体の介護になるもので、障害者本人の意志はほとんど尊重さ
れないものだが、これが病院ともなるとなおさらである。そもそも治療を目的として一時的にいる場
所だし、やむを得ない部分もあるが、実際は重度の頸椎損傷者は10年以上入院している人もざら
にいたし、そこは我々にとって、紛れもなく日常の生活空間だった。

しかし、そこで行なわれるのは完全に管理された介護で、生理現象である排泄にだって決められ
た曜日と時間に下剤と浣腸を使って強制的に行なわれる。そこに（感覚はないが）本人の意志や習慣
が入り込む余地はない。時間内に終らなければ紙おむつをつけられて放置されるだけである。生理現
象でさえ、こんな具合だからほかの介護にいたっては“推してはかるべし”である。

とにかく忙しい（らしい）看護師にものを頼もうものなら、嫌味の二つ、三つくらいは覚悟しな
いとイケない。ヘタすれば、心無い罵声を浴びせられることもあったから、当時の私はほとんど看護
師とは口をきかなかつた。それが当時の自分にできる、自尊心を守る唯一の方法だった。幸いにも
家族の介護が病院内でも許されていたし、それができる家庭環境でもあった。その環境になれば
大変だった。ひたすら耐え忍ぶか、看護師に気に入ってもらえるように涙ぐましい努力をするか、
である。いずれにせよ、自尊心は殺さねばならない。

当時の友人と話せば笑い話にもなるが、実際のところ、残った心の傷は深いことがわかる。

日 々 夙 夙



もう二ヶ月前になりましたが、東日本大震災で被災にあわれた方々には心からお見舞い申し上げます。

自分に何が出来るか考えていますが、募金等しか今は力にはなれていません。一刻も早い復興を願っています。

さて時間の流れは一年変わらずに進んでいきます。私も自分なりに忙しく働いております。忙しくて仕様が無いとはいいますが、昔の人はみんながみんなではありませんがよく働いたらしいです。



仕事仕事で 趣味まで仕事。こんな人は滅多にいなかったでしょうが、今より多かったのではないのでしょうか。何と言っても戦後の復興、高度経済成長期を支えた人達ですし、仕事も沢山あったのではないのでしょうか。

今では過度の労働による過労死が90年代から労災認定されて、会社もそこまで仕事をさせないように改善しているようです。過労死の事もありますが、今では仕事以外の場所で生き甲斐を求め人も増えているようです。家族との時間を大切にしようになったんですね。では何故少子化が改善されないのかと思わず聞き返したくなりますが、この問題は他に多くの原因があるのでしょうか。

さて話を戻します。仕事をするにおいてる訳ではありません。しかし、会社は自分のある人が欲しいのでしょう。実際私が会社を



みんなが自分のやりたい職業につけ会社に有益な人材が欲しいし、熱意の経営していたらそんな人が欲しいです。

仕事に対して情熱を持ってなくて仕事以外に熱心になる。仕事に対し情熱を持っている社員がたくさんいる会社と、全然いない会社では仕事の速さも違うし、質も良いはずです。

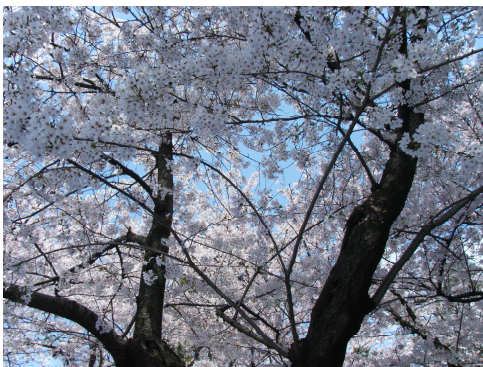
何故ならそこに情熱があって、色々な考えがあっても向かう方向が一緒なので、議論事態も質の高い物になると思います。仕事にしか当てはまる話ではないと思います。サッカーやチームスポーツ、演劇、バンドもそうだと思います。1つの目的に向かって動く集団。

それは自立運動も一緒です。願わくば、もっと多くの人達で、強い結束力をもって活動が盛り上が
 っていければ、社会もより差別やバリアがなくなっていくと思います。誰もが住みやすい街に早くな
 ればいいと思います。



お花見に行ってきました

4月9日土曜日、前日の雨が心配でしたが当日は朝から晴天に恵まれ、総勢20人で
 小倉城できれいに咲き誇る桜を見してきました。



活動報告 (平成22年11月～平成23年1月)

- 11月4日 ヘルパー研修(障害者の体験談から感じてみよう)
- 11月19日 よろず!!^⑪
- 11月24日 小倉リハビリテーション学院に出前講師^②
- 12月4日 障害者週間の啓発イベントに参加
- 12月10日 ヘルパー研修(差別事例検討)
- 12月10日 クリスマス☆よろず!!^⑫
- 12月12日 NPO法人 自立生活センターふるーむ 第3回通常総会
- 12月18-20日 ピアカウンセリング集中講座 in 北九州
- 1月19日 北九州特別支援学校の出前講師
- 1月21日 よろず!!^⑬ 新春、餅歌、よろず!!
- 1月26日 B級バスハイク『いちご狩りに行こう～!』



東日本大震災で被災された関東、東北地方の自立生活センターの当事者、スタッフの皆様方、心よりお見舞い申し上げます。

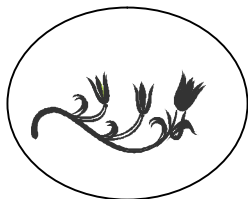
この通信がみなさんのお手元に届く頃には、少しでも復興していますように...と願うばかりです。



がんばろう日本!

【 ㊦ 】

■ロゴについて■



この3つが繋がったチューリップには、3J=「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい...という願いがこめられています。

■会員募集■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」みずからが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何が重要かということを一歩知っているのは「障害者」自身であると考えるからです。

自立生活センターぶるーむはこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員 当法人の目的に賛同し、法人の活動に責任を持って参加していただける個人の方。	3,000円
賛助会員 当法人の事業を資金面などで賛助していただける個人及び団体の方。	5,000円

【郵便振替】口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ
記号番号：17490 35083341

編集人
連絡先

NPO法人 自立生活センターぶるーむ

〒803-0818

福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F

TEL 093-562-5431

FAX 093-583-3257

E-Mail cil-bloom@nifty.com

URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>

定価 1,000円